

(様式1)

教育研究業績書		
		2022年5月1日
氏名		井原 緑
研究分野	学位	
臨床看護学	北里大学 修士(看護学)・昭和大学 博士(医学)	
研究内容のキーワード		
慢性期看護		
教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1. 教育方法の実践 1) 成人の特徴理解促進のための取り組み	平成30年～令和元年	西武文理大学看護学部成人看護学の教授として成人看護学概論、成人看護学支援論Ⅰ、成人看護学支援論Ⅱを担当し、成人へのインタビューとアセスメントをするプログラムを作成した。
2) 周手術期の講義におけるミニテストの導入	平成31年～令和元年	手術を受ける人の生体反応や術後合併症について、知識を定着させるために、基礎知識のミニテストを繰り返し行うプログラムを作成した。
3) 患者教育スキルを学習するための演習を構築	平成31年～令和3年	成人看護学支援論Ⅱにおいて、糖尿病事例を用いて、成人教育の基礎知識を活用した患者教育場面の演習を設定した。
2. 作成した教科書、教材 1) 『成人看護学 慢性期看護・ターミナルケア』	平成19年4月 第1版	成人期の慢性期・終末期にある対象への看護に関するサブテキスト部分的執筆 (P217-232、273-284) 株式会社日本放射線技師出版会
2) 『慢性期看護 緩和・ターミナルケア』	平成20年4月 第1版	慢性期看護のサブテキスト、慢性心不全・慢性腎不全の部分的執筆 (P230-244、289-299) 株式会社日本放射線技師出版会
3) 『臨床看護総論』	平成21年12月 第1版	慢性期を経験する患者への看護 部分的執筆 (P77-93) メジカルフレンド社
4) 『慢性期看護・ターミナルケア・緩和ケア対象とのコミュニケーションからケアに至るプロセス』	平成22年4月 第1版	慢性期看護のサブテキスト、機能障害と生活への援助 部分的執筆 (P198-211、252-259、286-295) ピラールプレス
3. 教育上の能力に関する大学等の評価		
4. 実務の経験を有する者についての特記事項 1) 実習指導者講習会	平成21年～29年	講義2回/年 「成人看護学の慢性期・終末期に関する基礎知識」「実習指導の原理」
2) 昭和大学公開講座	平成28年 7月	講演 臨床教員、実習指導者を対象に、臨床教員セミナー「看護学実習記録を活用した看護過程の教え方」
5. その他		
職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1. 資格、免許等 看護師免許		
2. 所属学会 日本看護科学学会、日本看護研究学会 日本カウンセリング学会、日本看護学教育学会 日本看護技術学会		
3. 実務の経験を有する者についての特記事項		
4. その他		

(様式2)

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表年月	発行所・発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) 1) 腹部のフィジカルアセスメント 2) 臨床看護総論 (再掲)	共著	平成18年2月 平成21年12月	学習研究社 メジカルフレンド社	「腹部のフィジカルアセスメントの視診」部分的執筆 (A5判、全153頁、P49-60を担当) 慢性期を経験する患者への看護 部分的執筆 (P77-93)
(学術論文) 1) 終末期ケア実習における看護学生のコミュニケーション・スキルの獲得が対患者関係知覚とコミュニケーション懸念に及ぼす影響 (査読付き) 2) (原著) Voluntary training undertaken by stroke patients during the recovery phase and related factors (査読付き) 3) (原著) 回復期脳卒中患者の自主トレーニング実施に関連する要因 (査読付き) (博士論文) 4) (原著) 看護学生における成人看護学実習デモンストレーションとSense of coherence(SOC) (査読付き) 5) (原著) 消化器術後患者への食事指導の実際と看護師の認識 (査読付き) 6) (原著) 慢性疾患を抱える人の病の受容プロセス (査読付き) 7) (短報) 周手術期看護学実習における実習カンファレンスの経時的変化と相違—学生、教員、実習指導者のカンファレンス自己評価から— (査読付き) 8) (原著) 看護学生の慢性期・終末期患者へのQOL支援行動に関する研究 (査読付き) 9) (原著) 慢性期脳卒中片麻痺患者の自己効力感に関する研究第一報—自己効力感・運動行動・生活の満足度の関連— (査読付き)	共著 共著 共著 共著 共著 共著 共著 共著 単著	平成31年3月 平成28年9月 平成28年9月 平成25年3月 平成25年1月 平成24年8月 平成19年3月 平成14年9月 平成13年9月	共立女子大学看護学雑誌 : 1-11, 2019 Japanese Journal of Comprehensive Rehabilitation Science 7 Japanese Journal of Comprehensive Rehabilitation Science 7 昭和大学保健医療学雑誌11 昭和大学保健医療学雑誌11 昭和大学保健医療学雑誌10 昭和大学保健医療学雑誌第3・4合併号 昭和大学医療短期大学紀要 3号 昭和大学医療短期大学紀要 2号	終末期ケア実習中の看護学生が対患者関係を築き、患者の問題を意識化するためのコミュニケーション・スキルを獲得することで対患者関係知覚とコミュニケーション懸念に及ぼす影響について検討 (P1-11) 伊藤まゆみ、井原緑他 8の論文を英訳 (P29-38) Midori Ihara, Masazumi Mizuma, Nobuyuki Kawate 脳卒中患者の自主トレーニング実施に関連する要因について、脳卒中発症後1ヶ月以上の入院患者33名を対象とし自主トレーニング実施状況、リハビリテーションへの結果予期・効力予期、生活の満足度の質問紙調査 (P29-38) 井原緑、水間正澄、川手信行 成人看護学実習デモンストレーションとSOCの関係についてA大学看護学生3年生85名を対象とし質問紙調査 (P43-48) 大木友美、井原緑 消化器がんの手術を受けた患者に対する食事指導の実際と看護師の認識について、半構成的面接を行い、質的帰納的分析をした (P80-86) 小笠原春香、大木友美、井原緑 慢性疾患を抱える人の病の受容プロセスについて半構成的面接を行い、質的帰納的分析をした。(P21-28) 金子英明、井原緑他 成人看護学実習(急性期・回復期/周手術期)での実習カンファレンスの学生、教員、実習指導者にカンファレンスの評価(P19-31) 山室八潮、井原緑他 慢性期・終末期の成人看護学実習における看護学生のQOLへの認識とQOL支援行動の質問紙調査 (P9-17) 伊藤まゆみ、井原緑他 慢性期脳卒中片麻痺外来通院中の患者86例を対象とし、自己効力感、生活の満足度NO聞き取り調査。結果は、運動行動は、運動自信感和有意な正の相関を認め、生活の満足度とは関連を認めなかった。(P13-19) 井原緑
(学会発表、講演など) 1) 回復期脳卒中患者の自主トレーニング実施と関連する要因第2報 2) Relationship between/Factors affecting self-efficacy exercise behavior, life satisfaction of chronic hemiplegic stroke patients 3) 慢性期にある脳卒中患者の自己効力感と運動行動との関連	共同 共同 単独	平成28年4月 平成16年1月 平成13年11月	昭和大学学生会第327回例会 (昭和大学) Fifth International Nursing Research Conference (福島医科大学) 日本カウンセリング学会第34回大会 (大阪教育大学)	脳卒中発症後1ヶ月以上の入院患者33名に自主トレーニング実施状況、結果予期、効力予期、生活の満足度について質問紙による聞き取り調査 (P246) 井原緑、水間正澄、川手信行 慢性期脳卒中患者86名に対して、質問紙調査とインタビューを行い、リハビリテーションとしての運動行動の影響要因について (P89) Midori Ihara, Mayumi Itou 脳卒中患者の自己効力感と運動行動の関連について、慢性期脳卒中片麻痺患者86名に質問紙調査 (P184-185) 井原緑
(その他)				